



ジュゴン Vol.76

# ちゃんぷるニュース

**SDCC** 2014. 9. 23  
Save the Dugong Campaign Center

## CONTENTS



- 2/3 稲嶺市長与党が過半数
- たくま議員からのメッセージ
- 4/5 辺野古に押し寄せる県民の怒り
- 海上抗議
- 東京・大阪での抗議行動
- 6/7 コラム
- おきなわ便り

1997年の名護市市民投票で海上ヘリポート基地建設が否決されてから17年、今年1月の名護市長選挙で稲嶺市長が、「基地建設阻止」を掲げて再選、そして直近の名護市議会議員選挙でも基地建設反対派が過半数を確保した。名護市民の民意は、基地建設NO!である。また8月26日、琉球新報と沖縄テレビが合同で行った世論調査結果では、普天間飛行場の辺野古への移設作業について「中止すべきだ」が80.2%、「そのまま進めるべきだ」の19.8%を大きく上回った。これらの民意を尊重することが民主主義国家である。

しかし安倍政権は、名護市民の民意を無視し海底ボーリング調査を強行している。辺野古現地では、カヌー隊が「制限水域内」に進入すると海上保安庁・海猿が暴力的に拘束している。海猿=正義のヒーローは、ドラマの中だけのことで本質は権力の手先にほかならない。

# 海底ボーリング調査を阻止しよう!

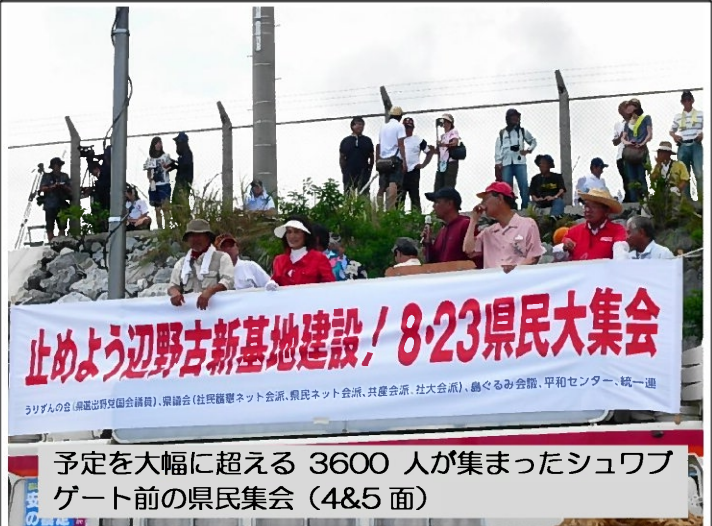
このような暴力的な弾圧にひるまず、辺野古では連日カヌー隊が抗議行動を展開している。また、キャンプシュワブ前でも8月23日に「みんなでいこう辺野古へ。止めよう新基地建設! 8・23県民大行動」が、第1ゲート前で開かれ、約3600人(主催者発表)が参加した。そして9月20日には、再度万人規模での抗議集会を開催する予定だ。

一方、米サンフランシスコ連邦地裁は、日米の自然保護団体などが米国防総省を相手取り、事実上の工事中止を求めた追加の申し立てを受理した。判断は早ければ、今年末か、新年早々に出るとみられており、辺野古の埋め立て工事に影響を及ぼすのは間違いない。

今こそ、「辺野古の埋め立て反対! ボーリング調査を中止せよ! 沖縄のジュゴンを守ろう」の声を全国から巻き起こそう! 安倍政権NO! の声を広げよう! この力で、11月沖縄県知事選挙に勝利しよう!  
(首都圏 三村昭彦)

[WEB] <http://www.sdcc.jp/>

[EMAIL] [info@sdcc.jp](mailto:info@sdcc.jp)



情勢

# 稲嶺市長与党が過半数！ 11月沖縄県知事選挙に勝利しよう

9月7日名護市議選挙で、東恩納琢磨候補が6位当選、前回より約100票多い1143票でした。私たちSDCC7名は主に西海岸でビラ配り、街頭宣伝、練り歩き、選挙カーの運転とウグイス、票読みなどを取り組みました。名護市議選(定数27、立候補者35)の結果は、稲嶺与党が14議席(立候補者16人)、中立の公明党が2議席(同2人)、野党が11議席(同16人)で、与党が過半数を実現。稲嶺市長は「かろうじてだが過半数を占め、安心した。民意は変わらない」と闘いの決意を固めています。市議会では公明党を含めると埋め立て反対が16人で、推進派は11人。仲井真知事などは「野党が1議席増」と言っていますが、野党議員の多くは選挙戦で辺野古推進は言えなかったのです。立候補者で反対派の総得票率は今年の稲嶺市長の得票率を2%以上回っています。名護市で反対世論は確実に広がっているのです。

選挙中盤の9月3日夕方、翁長雄志那覇市長が与党市議候補応援に駆け付け、稲嶺市長とともに街頭演説をしました。演説会では、各候補者ののぼり

が林立し約600人が参加。自民党から除名された那覇市議会の新風会会長や市議会議長も紹介されました。翁長市長は「基地に依存しない町づくりこそが必要。那覇の新都心などで雇用や税収は大幅に増えている」と強調。辺野古の新基地建設阻止・普天間基地の即時閉鎖こそ沖縄のこどもの未来をつくるものと訴え、名護市議選とともに県知事選挙勝利を参加者全員で決意しました。名護市議選の勝利をふまえ、翁長那覇市長は9月10日市議会で「イデオロギーよりアイデンティティーに基づくオール沖縄で責任ある行動が求められている」と県知事選出馬を表明しました。最大の争点になる米軍普天間飛行場返還問題については「これ以上の基地の押し付けは限界。辺野古への移設は事実上不可能だ」と明言。この発言に菅官房長官は「仲井真知事が埋め立てを承認し、工事を進めている。この問題は過去の問題だ」と争点になることを恐れています。9月8日、SDCCは辺野古での座り込みや海上行動と連帯して、沖縄防衛局交渉をしました(記事別掲)。11月知事選挙勝利に向け、SDCC活動がより重要になってきて



## 9.8 沖縄防衛局交渉報

名護市議選直後の沖縄防衛局交渉は、多くのマスコミの関心を引きました。

NHK、琉球朝日放送、沖縄タイムス、琉球新報などが早くから我々を待っていたので、交渉の狙いを事前レクチュアしました。ボーリング調査や作業ヤードのための先行埋め立てを進める一方、今年5月から2か月間で発見されたジュゴンの食み跡110本を無視するなど、沖縄防衛局自らが作成した環境保全措置すら実行していない姿勢を批判し、実行することを約束させました。交渉時間50分。先行埋め立ての作業ヤードが密度の高い海草藻場であることを確認したうえで、10月29日の業者決定までに海草藻場の移植や増殖など環境保全措置について環境監視等委員会で検討することを要求し、先行埋め立て工事までに



海草藻場の移植などを実施することを約束させました。また、辺野古ダム周辺やキャンプシュワブにある5か所の文化財保護については、名護市役所の判断(記録保全だけでなく、現地保存)を尊重することも確認しました。

# みんなで行こう 辺野古へ 止めよう新基地建設！ 8.23県民大行動

「居ても立っても居られない」県民の怒りが辺野古に押し寄せている。

「みんなで行こう 辺野古へ 止めよう新基地建設！ 8.23 県民大行動」には実行委員会が各地でチャーターした大型バスにも乗れなかった多くの県民が地域のチャーターバスや超満員の路線バスに乗り、はるばるやんばるの東海岸まで駆けつけた。結集した県民は当初目標の2000名を大きく上回り3600名を超えゲート前国道の両側歩道は数百メートルにわたり身動きが取れない。

当初 30 名程度の市民の参加で始まったゲート前での建設工事反対、抗議行動は日を追うごとに参加者は増え、灼熱の太陽の下、歩道上の日よけのためのブルーシート仮設テントの長さはどんどん伸び、ゲート前でのデモ行進は渦を巻くようになった。



普天間基地での市民によるゲート封鎖という苦い経験を持っている政府・沖縄防衛局はゲート前の国道敷きスペースにあの「山型殺人鉄板」を敷き詰め、さらに歩道上に仮設ゲートを設けるとい徹底した抗議行動の封じ込めを企て、さらに、海上では全国から集めた海保巡視船 10 数隻が大浦湾を囲み、海保高速ゴムボート（GB）など50艇ほどが辺野古の海を駆け回るとい厳戒体制の下で、フロートによる海の囲い込みやボーリング調査を強行した。

あるオーバーは「日本が沖縄を攻めている」「小さい時にこれと同じ光景を読谷の海で見たサー」と語っていた。

陸上、海上での彼らの蛮行が明るみになればなるほど、県民の怒りは広がり、辺野古へと集まって来る。「居ても立ってもいられなくなって来た」と言うのが多くの市民の言葉だ。（沖縄 高垣喜三）



## 8・23首相官邸前同時抗議行動に参加して

### 東京

沖縄の「止めよう新基地建設！ 8・23 県民大行動」は、目標を大幅に超えて、3800人が辺野古に集結し、改めて沖縄の意思を政府に突き付けた大きい集会だったと各マスコミが報じています。その日、東京では沖縄の集会に呼応して「ボーリング調査強行を許すな！ 海保の暴力を許すな！ 辺野古新基地建設許さない！ 官邸前緊急抗議行動」が行われました。

司会が「国は暴力を使って無法なボーリング調査を強行している。しかし、沖縄は決して負けない。諦めない。我々も国や防衛省に対して粘り強く闘いを継続して行こう」と、挨拶。また、集会に参加した各団体や辺野古に支援に行った人達から「沖縄県民は体を張って闘っている。年寄りもゲート前、若者は力又一隊で頑張っている。だが、国は凄まじいまでの国家権力で弾圧している。沖縄の民主主義や、沖縄の人権が否定されている。

今後 100 年以上も使えるような新基地は断じて認められない。」と次々に発言がありました。

緊急呼びかけに 500 人を超す参加があり、官邸前は熱気に包まれました。（首都圏 宮城韶子）



# 埋め立てに抗議する辺野古海上行動

7月22日から辺野古に来ています。1か月半、その大半を海の上で、抗議行動と監視活動、そして阻止行動をしています。大浦湾側のビーチに海上保安庁が使う浮棧橋ができたのが7月27日、この日、カヌー隊2名が海保によって拘束されました。その後、陸から50mの制限水域をボーリング調査のために拡大し、ブイ設置した翌日8月15日は、カヌーが根こそぎ拘束され私の乗っていた平和丸も海保の海猿に拘束されることに。海保の暴力的なやり方に腹が立ちます。

シュワブゲート前での2000人集会が予定されていた前日の22日、海保の暴力によってけが人が出、それがタイムス・新報に報道されると、23日の集会になんと3600人が参加。海保のやりすぎに沖縄の人、全国の人の声が大きくなりました。そして30日はこちらから反撃。23艇40人余りがブイの内に入って抗議、私も

ぶかぶか隊として泳ぎましたが、拘束されることもなく無事。その後も時々、スパッド台船での作業を止める阻止行動として、フロートを越えています。作業する人たちや防衛局に対して抗議したいのですが、その前に立ちふさがる海保との闘いが続けられています。皆さんもぜひ、抗議の声をあげてください。  
(首都圏 加藤宣子)



仲本文子さん撮影  
加藤宣子提供



## 8.18辺野古埋め立て阻止集会&デモ

8月18日(月)の夕方、大阪の中之島公園で辺野古でのボーリング調査作業への反対を訴える緊急集会が行われました。関西で沖縄の基地問題に関わってきた10(その後増えて11)の団体が共同しての行動で、SDCCも呼びかけ団体に加わって開催しました。

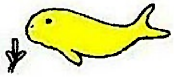
呼びかけ期間2週間の緊急行動でしかも平日の夕方にも関わらず、仕事帰りや家族連れなど330人が参加し、政府の進める強行作業に対する問題意識をひしひしとを感じる集会でした。SDCCも、ジュゴン訴訟の動向や、ジュゴンの新たな餌場での浮棧橋設置の問題を訴え、県へのFAX行動の呼びかけをアピールしました。

現地へのカンパも13万円以上も集まり、皆さんの気持ちの強さも感じられる集会になりました。翌日のタイムス、翌々日の新報でも写真つきで報道されて沖縄現地の人にも伝わり、本土での盛り上げの重要性が再認識されました。今後もこの共同体制で



の活動は継続し、10月5日にはより大きな規模で講演集会を持つことになりました。  
(関西 海勢頭聖)

報告



# たくさんの人に伝えたい！ ジュゴンでトレイン！

SDCCでは、毎月15日はジュゴンの日として、ジュゴンや辺野古の海のことを知ってもらおう日としています。そして、年に1度は「ジュゴンでトレイン」として、大阪環状線の電車や駅でジュゴン保護のアピールをしています。今年9月15日に、第6回目となる「ジュゴンでトレイン」を行いました。

着ぐるみやマスコット、プラカードでアピールしながら、電車に乗り、梅田駅、京橋駅、天王寺駅でチラシを配り、「ジュゴンを守ろう」「基地はいらない」とたくさんの人に声をかけました。

130の方が署名をしてくださり、たくさんの人が話を聞いてくれました。着ぐるみは子どもたちにはキャーキャー言われ、「なんで海の水がないのに、生きてるの？」なんてかわいい質問も出ました。10月の満月祭りにカンパをくださる人もありました。

ジュゴンでトレインは大阪だけでなく、全国各地、世界でも、アピールを呼びかけています。今年は前夜祭として、14日に辺野古でも取組まれました。他の地域でも取組まれた皆さんは、ぜひ、ご連絡ください。日本全国、世界各国でたくさんの人に、もっともっとジュゴンについて、辺野古について知ってもらいたいと感じた1日でした。

(関西 正阿彌(しょうあみ)崇子)



※全国で取組まれた「あなたの街でジュゴンでトレイン！」は次号に掲載します。



# 世直しの歌コンサート～こらむ・こらむ～

西原町に新しい町役場が出来た。早速見に行った。白いモダンな3階建て、駐車場も広い。内部は採光を活かしたオープンスペースで、明るく、各課の職員が笑顔で立ち働いている様子が見えた。機能的配置である。そして私が何より嬉しかったのは、「さわふじ未来ホール」と銘打たれた300～500人収容の多目的ホールが併設されたことである。

6月23日の慰霊の日には、毎年「西原町平和音楽祭」を行い、町民と一緒に「月桃」を歌うのを恒例としてきたが、それは野外ステージでのこと。いつかちゃんとしたコンサートを町民に提供できる、そんなホールが出来ることを心待ちにしてきたが、その夢が叶った。

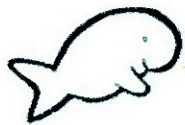
私は早速、「さわふじ未来ホール」でコンサートをすることにした。時は10月5日(日)の午後2時から4時までの2時間。目的は、米国家歴史保存法に照らして、ジュゴンが沖縄・琉球の歴史文化に深く関わってきた動物であること、そして現在も沖縄各地で祭られている龍

宮神・海神とはジュゴンのことであり、それは平和の神・航海安全の神・豊穡の神であること、その重要な信仰の対象であるジュゴンこそは沖縄県民のみならず、日本国民全体で護るべきものであること、そのことを辺野古の闘いに向かう人々の共通認識として高め、結集して11月16日の沖縄県知事選で圧倒的勝利を納めるようにすることである。

プログラムの第一部で古代倭国と倭及奴の世直し運動の歴史を語り、それを証明するマカタマや三つ巴紋、神歌やオモロ、祈り言葉などを紹介。新しく久高島で取材してきた「太陽拝みの唄」を私自身が歌うことにした。

第二部では、戦後沖縄の思いを歌でつづり、SDCCがジュゴン保護運動を間断なく続けてきたことを話す。出演は私と愛とみちさ、そしてパーカッションにノーリーが加わる。また詩人・川満信一さんの宮古口での詩の朗読を予定。成功させたいと思っている。

海勢頭豊(うみせど ゆたか：SDCC 共同代表)



おきなわ便り

## ☆公設市場の八百屋さん☆

「野菜が高いからオクラ食べたらいいよ」

ある八百屋さんへ行ったときに、野菜出しをしている店員さんが大声で声かけをしています。

客「兄さん、このオクラおいしいね？」店「もちろんさ～」  
客「兄さん、このゴーヤ美味しいね？」店「惚れるよ～」  
客「兄さん、このチョコレート美味しいね？」「最高さ～」

とにかく、この兄さんがとても楽しそうなんです！私も聞いてみました。

「このカラシナ美味しい？」  
店「そうさ～」  
「????」

でも、面白く楽しい気分♪



あまりみたことのない野菜があり、他の男性店員さんに聞いてみた。

店「俺は料理しないから分からんさー。レジの姉さんに聞いてみて」と笑顔。  
客「美味しいさー。ゆでてからドレッシングかけて食べてもいいし、汁物に入れても美味しいよ」

隣にいた知らないおばあが話してくれました。  
なんて親切！嬉しい気持ち。  
けっしてスーパーよりも安いわけではないけれど、新鮮な野菜、楽しい会話。

会話のキャッチボールがあるって、一人ではないなという幸福感を味わえるんだなと感じました。

さて、沖縄では店員さんのことを「兄さん」「姉さん」と呼ぶことが多いです。おじさん、おばさん、おじい、おばあであってものです。  
(沖縄 仲村)

## 【首都圏】



## 《 今後のスケジュール 》



## 【関西】

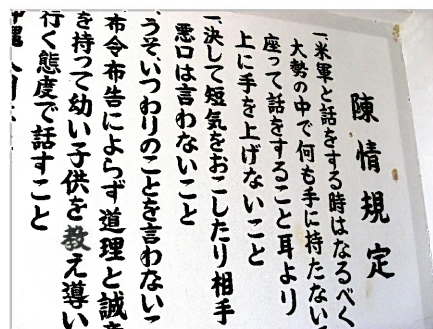
- ◆10/11 ピース・フェスティバル in 大和・綾瀬 2014  
10時～15時  
@相鉄線・小田急線大和駅東口広場・東側プロムナード
- ◆10/12 辺野古実行委員会情宣 15時～16時  
@有楽町マリオン前
- ◆10/26 団結まつり 10時～16時 @亀戸中央公園

- ◆10/5 STOP! 辺野古新基地建設! いま、辺野古から  
いま、関西から 2時開場 2時半開始  
4時半～デモ @天王寺区民センター・大ホール
- ◆じゅごん茶話会 10月23日(木)  
午後2時～3時半 @京橋SDCC事務所
- ◆11/3 団結まつり 10時～16時 @扇町公園

## 沖縄の旅・こぼれ話③ 又チドゥタカラの家

沖縄の縮図といわれる伊江島。地上戦で住民の3分の1が犠牲になり、今も米軍基地がある。「基地さえなければとても豊かな島なんですよ」と謝花悦子さん。『又チドゥタカラの家 反戦資料館』には故阿波根昌鴻(あはごんしょうこう)さんが集めた資料が展示され、原爆の模擬弾、薬莖、デモで使ったプラカードなどがぎっしりと並んでいる。「ゲンバクを落とした国より、落とさせた国の罪は重い」「子供の命を守るのはハリヤーではない。母のやさしいぬくもりです」伊江島土地闘争、乞食行進など非暴力で平和運動に尽力された阿波根さんの遺した1つ1つの言葉に、自分自身が問われる。壁に掲げられている「陳情規定」は今の平和運動に十分通じると思う。ぜひ、読んでみて下さい。伊江島は美し海に囲まれたのどかな島、民泊で中高生がたくさん訪れます。基地さえなければ・・・。

(関西 池側恵美子)



## 2014 満月まつり in OSAKA

日時：10月11日(土曜日) 14時～19時半  
場所：中崎町ホール(地下鉄中崎町駅徒歩5分)  
入場無料  
1999年からはじまった沖縄の満月まつりは、今年で16回目。「命どう宝」の思いを共有し、大阪で同時開催します。  
音楽あり、トークあり、上映会あり、いろんなお店も出ます。  
海勢頭バンドも登場! ぜひ遊びに来てください。



### 賛同にご協力を!

当日は入場無料ですのでほとんどが賛同金でまかなう形です。まつり収益は辺野古にカンパする予定です。

1口 個人 1000円～ 団体 3000円～

- 振込先 \*郵貯の通帳同士の送金は、郵便口座番号 14160-9794861
- \*振込の場合 店名 四一八支店 店番418 普通口座番号 0979486
- \*口座名義 ヤマネフキコ

### ライブスケジュール

- 14:30 月桃の花歌舞団
- 14:55 長野雅貴部隊
- 15:20 牧志徳
- 15:55 花☆キャラ
- 16:20 ほどほど
- 16:45 佐野明
- 17:10 アカバナー食堂
- 18:00 海勢頭豊バンド
- ※休憩 15:40～15:55、17:30～18:00

## スタッフ派遣カンパ ありがとうございます



皆さまからカンパをいただき、スタッフ4名が名護市議選挙の応援に行ってきました。“ジュゴンパワー”でたくま候補を応援! 選挙戦を盛り上げてきました。ご支援ありがとうございました!



**Editor's Note** 先日参加した集会で、沖縄から来られた反戦地主会の弁護士さんが「沖縄知事選は、民主主義を取り戻す機会であり、県民の誇りと、未来への責任を果たすために勝利を!」とおっしゃっていました。この重要な局面に、大阪で出来ることをと、満月まつり in OSAKAを開催します。「基地のこととか、あまり知らない～」という方にも、気軽に来てもらえるように、楽しく辺野古を知ることが出来るまつりを企画しています。考えるきっかけになればなあと思っています。(山根)

ジュゴンちゃんぶるニュース VOL.76 2014年9月23日発行  
ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the Dugong Campaign Center (SDCC)  
〒162-0815 東京都新宿区土土八幡町2-2-1  
第1千代田ビル301 なかま共同事務所内 TEL/FAX 03-5228-1377  
○ <http://www.sdcc.jp/> ○ [info@sdcc.jp](mailto:info@sdcc.jp)  
(関西連絡先) 〒534-0025 大阪市都島区片町2丁目9番21号野口ビル302  
TEL/FAX 06-6353-0514

### 会費(2000円)&カンパ振り込み先

郵便振替:  
加入者名 ジュゴン保護キャンペーンセンター  
口座番号 00140-9-660199  
他行、コンビニからは: ゆうちょ銀行 ○○八支店  
口座番号 普通 8159084

\*ちゃんぶるニュース購読会員募集中です。年会費2000円で年6回ニュースをお届けします\*  
お問い合わせは、上記事務所まで。ニュース購読で、あなたもジュゴンサポーターに!